



**中期経営計画の達成に向けた
取り組みを積極的に推進し、
J-POWERグループの一層の
成長を確実にしていきます**

わが国の電力事業においては、2015年7月に「長期エネルギー需給見通し」が策定され、2030年時点におけるエネルギーミックス目標が示されるとともに、2016年4月から開始された電力小売の全面自由化と卸規制の撤廃、さらに2020年に予定されている発送電分離など、電力システム改革は着実に進んでおります。また、「パリ協定」が発効し、わが国においても一層の温室効果ガス削減努力が求められるなど、J-POWERグループをとりまく事業環境は大きく変化しております。

私たちJ-POWERグループは、このような事業環境の変化と自らの強みをふまえ、2015年7月に今後10年間のさらなる成長に向けた挑戦を中期経営計画として策定しました。その方向性は、「国内での成長は、自由化された市場で競争に勝ち抜くことにより実現」、「企業成長の舞台を国内外に広く求めるグローバル展開」、「国内外での成長を、一層の低炭素化技術で支える」の3点であり、これらの方向性を具体化するための取り組みを積極的に推進しております。

具体的には、現在、国内では竹原、鹿島、海外ではセントラルジャワなどの大型石炭火力発電プロジェクトが建設中であるとともに、再生可能エネルギー分野でも風力・地熱・水力プロジェクトを複数実施しており、成長のための設備形成は着実に進捗しています。さらには、次世代の石炭火力発電技術である酸素吹きIGCC実証プロジェクトも3月に運転を開始しています。今後も、さらにより多くの国内外の優良なプロジェクトの発掘・推進を通じて、J-POWERグループの一層の成長を確実にしてゆく所存です。

「人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する」という企業理念の下、これからも我々は全力を尽くしてまいります。

皆様の変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2017年9月

取締役社長

渡部 肇史